

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

| | | | | | |
|-------|----------|-----|------|-----|---------------------|
| 教科・科目 | 情報・社会と情報 | 学年 | 第1学年 | 教科書 | 日本文教出版 新・見てわかる社会と情報 |
| | | 単位数 | 2単位 | 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 学習方法 | <p>PC等を適切に活用し、必要な情報を収集し、著作権等の法規を十分勘案させながら処理し、発表等の中で表現する。 最新の情報に関わる事象を取り上げ、レポート作成等を通じ、その特徴や問題点等を理解する。 グループ発表等を通じ、コミュニケーション能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を養う。</p> |
|------|--|

| 評価の観点 | | 科目の評価の観点の趣旨 |
|-------|----------|--|
| a | 関心・意欲・態度 | 身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 |
| b | 思考・判断・表現 | 情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。 |
| c | 技能 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 |
| d | 知識・理解 | 情報を活用するための基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 |

| 学期 | 内容のまとめ | 時数 | 単元(題材) | 学習内容 | 評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------------|--|-------|---|---|---|--|---|
| | | | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 第1章 情報社会に生きるわたしたち | 4 | 第1節 情報を活用しよう | 1. 情報社会で活躍しよう 2. コンピュータを道具にしよう | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 情報社会に関心を持ち、自らの情報活用能力を高めようとする態度を養おうとしている。 b. 情報機器を活用する上での適切な判断力、思考力を身につけている。 c. 必要なルールやマナー、注意点を理解し、情報機器を適切に活用することができる。 d. 情報を発信するときに他者を傷つけないなど、送り手として必要な責任を理解している。 | 【学習状況観察】 【ワークシート】 【課題内容】 【確認テスト】 【定期試験】 |
| | | | 第2節 情報モラルを身につけよう | 1. ルールやマナーを守ろう 2. 人を傷つけないように気をつけよう 3. インターネットはみんなが見ている | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 第2章 コンピュータを使いこなそう | 6 | 第1節 コンピュータを使ってみよう | 1. 情報機器について知ろう 2. コンピュータを使う前に 3. 文字を入力してみよう 4. データを保存するときに | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 情報機器の特性や機能に関心を持ち、主体的に活用しようとする。 b. 情報機器の特性や機能に基づき、その活用の場面を判断できる。 c. 情報機器の特性や機能を理解し、適切に活用できる。 d. 情報機器の特性や機能について理解し、知識を身に付けている。 | 【学習状況観察】 【ワークシート】 【課題内容】 【確認テスト】 【定期試験】 |
| | | | 第2節 文書を作成してみよう | 1. 他人の権利を侵害しない | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 第3章 情報を整理して伝えよう | 5 | 第1節 問題解決をしてみよう | 1. 問題の発見 2. 情報を収集する 3. 情報を整理・分析する | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 情報の収集や分析、情報伝達などに関心を持ち、主体的に問題解決しようとする。 b. 情報の内容を考え、判断し、他者に効果的に伝達できるよう表現している。 c. 表計算やプレゼンテーションのソフトウェアを活用し、情報を適切に扱う技能を身に付けている。 d. 表計算やプレゼンテーションのソフトウェアを活用するための基本的な知識を身に付け、その役割を理解している。 | 【学習状況観察】 【ワークシート】 【課題内容】 【発表状況】 【確認テスト】 【定期試験】 |
| | | | 第2節 データを分析してみよう | 1. 様々なグラフ表現 2. 問題の解決にむけて | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 第3節 情報をわかりやすく伝えよう | | 1. 情報の表現・伝達の工夫 2. 発表と評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 後期 | 第4章 情報社会の課題について考えよう | 5 | 第1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題 | 1. 情報化が社会に及ぼす影響 2. サイバー犯罪 3. 詐欺 4. 情報化の課題 | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 情報の管理・保護に関する法律、情報セキュリティ技術などに関心を持ち、主体的に対応しようとする。 b. 情報を取り扱う際、順法やセキュリティの確保など考慮し、適切に判断できる。 c. 情報を取り扱う際のセキュリティを確保する技能を身につけている。 d. 情報の管理、保護に関する法律やセキュリティなどを理解し、知識を身に付けている。 | 【学習状況観察】 【ワークシート】 【課題内容】 【確認テスト】 【定期試験】 |
| | | | 第2節 情報セキュリティの確保 | 1. 個人認証とアクセス制御 2. 暗号化対策 3. 情報セキュリティを高めるための方法 4. 情報セキュリティをより高めるために | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 4 | 第3節 情報社会における法と個人の責任 | 1. 個人情報の保護 2. 知的財産権 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション | 1. 情報とメディアの特徴 2. コミュニケーション手段の発達 3. 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 第5章 情報社会のしくみを知ろう | 4 | 第2節 情報のデジタル化 | 1. デジタルの特徴 2. 情報のデジタル化のしくみ | ○ | ○ | ○ | ○ | a. 情報やメディア、コミュニケーションの方法や技術、ネットワークやデータ転送のしくみなどに関心を持ち、主体的に対応しようとする。 b. コミュニケーション手段、情報のデジタル化、ネットワーク技術などを科学的に捉え、考えとともに、表現方法などを適切に判断できる。 c. コミュニケーションの方法、情報のデジタル化、ネットワークの活用など、場面に応じて適切に扱うことができる。 d. コミュニケーションの方法や技術、情報のデジタル化の技術、ネットワークやデータ転送のしくみなどを理解し、知識を身に付けている。 | 【学習状況観察】 【ワークシート】 【課題内容】 【発表状況】 【確認テスト】 【定期試験】 |
| | | | 第3節 情報通信ネットワークのしくみ | 1. コンピュータネットワーク 2. ネットワークでデータを送るしくみ 3. インターネット上のサービス | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 4 | | 第4節 望ましい情報社会を築く | 1. 社会における情報システム 2. 情報システムと人間 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 合計時数(55分授業) | 64 | | | | | | | |